

# 韓国留学 2017 年後期

文学部 松永 唯里

**9月** 9月1日から2学期が始まりました。2学期は学科の授業2つと留学生向けの授業3つ、教養の授業を1つ履修しました。ある留学生向けの授業では韓国、中国、ウズベキスタン、ベトナム、日本それぞれの国のトレンドや健康食などのテーマを調べて発表したりと授業を通して異文化交流をすることができました。また祥明大学の行っているGLP(Global Leadership Program)というプログラムに参加しました。このプログラムは留学生と韓国人学生がグループになり、グループごとに文化活動や語学交換をするものです。集まってキャンパスツアーをしたり、一緒にご飯を食べながらいろいろな話をしたりと他の学科の学生とも交流することができました。9月の後半には大学の文化祭が開かれました。日本の大学とは異なり通常授業のあとに文化祭が開かれ夜中まで続きます。有名なアーティストが来た日には多くの人が集まりとても盛り上がっていました。



**10月** 10月には추석(秋夕)という韓国の礼節がありました。2017年は9月30日から10月9日の10日間の大型連休になりました。私は대우(大邱)にいる友達のところへ遊びに行ったり전주(全州)へ行き、韓国の伝統家屋が集まる韓屋村を見て回ったり有名な전주비빔밥(全州ビビンバ)を食べました。10月後半には中間テストと韓国語能力試験がありました。韓国語能力試験は天安からバスで1時間ほどにある선문대학교(鮮文大)に受験しに行きました。当日は緊張しましたが今まで勉強してきたことを出し切ることができました。留学前の目標も達成でき、とてもうれしかったです。中間テストが終わると台湾人の友達2人に誘われて순천(順天), 여수(麗水)に旅行にも行きました。外国人

同士が韓国語を使い意思疎通していることを不思議に思いながらも刺激をうけてとても良い旅行になりました。最初は外国人だけで旅行することに不安もありましたが現地の人の温かさに触れ、たくさんの思い出を作ることが出来ました。



**1 1 月** 1 1 月には日本語文学科の学生たちが行う演劇がありました。今年の題目は太宰治の『畜犬談』でした。学生たちの話す日本語のイントネーションやアクセントがネイティブのようでとても驚きました。また授業ではビジネスで起こりうる状況を設定しそれについてグループでロールプレイを行う課題がありました。私たちのグループは商品のコンプライアンスに関するロールプレイを行いました。韓国人学生は日本語で、私は韓国語で行うことになり、みんなで設定やセリフを考えたり日本語ではどのように言うのか、韓国語ではどのように言うのかなど話し合いを重ね、本番に向けて何度も練習しました。

**1 2 月** 1 2 月には留学生生活最後の期末テストがありました。また加えて課題や小テストも重なりとても忙しい日々を過ごしました。ある授業では韓国人学生たちと合同でプレゼンテーションの発表がテストとして行われました。韓国人学生たちのプレゼンテーション能力の高さに驚かされとても多くの学びがありました。祥明大学で過ごすのもあとすこしだったので悔いのない留学生生活を送ろうと友達を誘ってご飯を食べたり遊んだり積極的に行動しました。

## 韓国留学を終えて

2 月末に韓国に渡り、あっという間に留学生生活が終わってしまいました。留学当初は話すどころか聞く力も乏しく、友達の輪の中にもなかなか入ることができずもどかしい思いもしましたが、今できることをやろうと焦らずやった結果、時間が経つにつれ韓国語能力の伸びを実感することができました。また留学生生活の中で何でも口に出そうとする大切さを学びました。人に聞かずこうだろうと自分で解決するのではなく、分からないことがあればすぐに尋ねたり、韓国語が合っているのか自信がなくてもまずは口に出してみる積極性が大事であると深く感じました。最初はさびしかった留学生活でしたがたくさんの友達に恵まれたおかげで健康でとても充実した留学生活が送れたと思います。このような留学生活を送れたのも日本語文学科の先生方、学生のみなさんをはじめ多くの人々の支えがあ

ったからだと思います。また留学を決めたときに快く送り出してくれた家族、友達には感謝の気持ちでいっぱいです。交換留学というすばらしい機会を与えてくださった熊本県立大学の先生方や端羽さん、池田さんをはじめとする学生支援課の皆様にもお礼申し上げます。誠にありがとうございました。留学は終わってしまいましたがこれからも勉強を続け、さらに語学力を伸ばせるように努力していきたいと思います。